

CONTENTS

過酷な
夏のエンジン
労りケア

型録

OIL SHOPPER

今年もクルマにとって厳しい夏がやってきた。灼熱の炎天下のなか好調を維持するためにオイルに課せられた役割は大きい。定期的な交換は当然のこと。愛車にマッチする銘柄をじっくり吟味すべき時代に突入している。愛車に永く乗り続けるためにどんなオイルを選ぶべきか。エンジンオイル／添加剤の最新事情をレポートしていこう。

旬のキーワードはこの3つ

輸入車用オイル

欧州自動車メーカーは厳しい環境要件をクリアするべく独自の規格を設けている。粘度のみならず、メーカー認証を取得したオイルを入れるのが肝心だ。

超低粘度オイル

燃費向上を図るべく、今や0W-16や0W-20といった超低粘度を指定している新型車も数多い。そうした要件をクリアする適合オイルも増えている。

多走行車用オイル

走行距離が延びるとシール硬化によるオイル漏れのリスクも高まる。そうしたトラブルの予防にもなる多走行車向けのオイルも人気だ。

